

# 岐阜のつたえ話

こう  
攻

皆さんは、岐阜市にたくさんのつたえ話があることを知っていろいろな場所に伝わるお話を知り、その場所を散策して

あんがいぼり

## 案外堀 (小西郷)



白山神社は、青山青少年会館のすぐ西隣にあります。右の写真は、境内から見た会館の様子です。岐阜市立七郷小学校の北500mです。



### つたえ話のあらすじ

信長の家来の中で、やせっぽちの男がいました。みんなから力がないと笑われていました。しかし、信長は、本当に力があるのかなのかを試してみようと思い、お城の庭先にあった450kgもある大きな石を指さし、「力試しにその石を投げてみよ。」と命じました。するとどうしたことでしょう。その男は大声をあげて金華山のとっぺんから投げ飛ばしてしまったのです。石はうなりをあげて飛び、小西郷の白山神社のあたりに落ちて4つに割れました。ズドオン。地響きをたてて土がえぐられ、二間四方の池ができてしまいました。男の思いがけぬ力に、みんなは案外の思いをしたというので、その池に「案外堀」という名がついたそうです。



### 「岐阜のつたえ話」

編集 岐阜のつたえ話編集  
著作 財団法人 岐阜市教育  
発行 財団法人 岐阜市教育



お りゅう

## 尾なし竜 (鶉)

見事に彫られた竜の顔



柱に巻きついている二頭の竜。尾のない竜は右の竜。



### つたえ話のあらすじ

350年ほど前、鶉田神社の竜の彫り物は、名工、左甚五郎の作らしいという評判で、参詣者も増えてきた。そのころ村人の中で、竜が夜な夜な空を駆け回って火をはくといううわさが広がった。あるとき、竜をしたっていたハナという少女が役人のむちに打たれて死んだ。すべてを見ていた竜は…

君も鶉田神社へ行って、二頭の竜の素晴らしい彫刻を見ながら、尾なし竜の話の思い浮かべてみるといいよ。

鶉田神社



★鶉田神社は、鶉小学校の東方にあります。尾なし竜は拜殿の奥の鍵がかかった部屋にあります。見たい人は、鶉田神社宮総代の河口さんに事前に連絡をお願いしてみましょう。時間があれば見せていただけるよ。おうちの人と一緒に見に行こう。  
(連絡先 058-271-0037 河口さん)

★尾なし竜の話は、音楽劇として11月に岐阜市文化センターで上演されます。

ひぶせじそう

## 火伏地蔵 (京町)



この世には、不思議権現山には神通力いで風向きをかえさつ昭和20年、岐阜市門通りの西の方角は風向きが変わり、炎は「風向きを変えたのださったんやないか」は火伏の地蔵様やつると、地蔵様がしらん

★「慈恩寺の地蔵様」は、東別院の真ん前、道路の向かい側にある